

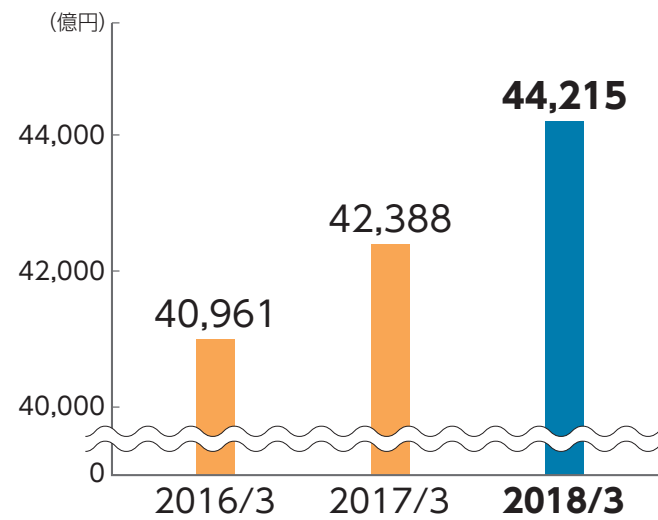
業績ハイライト

2018年3月期の業績につきましては、預金および貸出金の残高は順調に増加しました。
また、収益面では、経常利益は173億64百万円、当期純利益は120億93百万円となりました。経常利益は4年ぶり、当期純利益は2年ぶりの増益となりました。

預金残高

4兆4,215億円
(年間増加率4.3%)

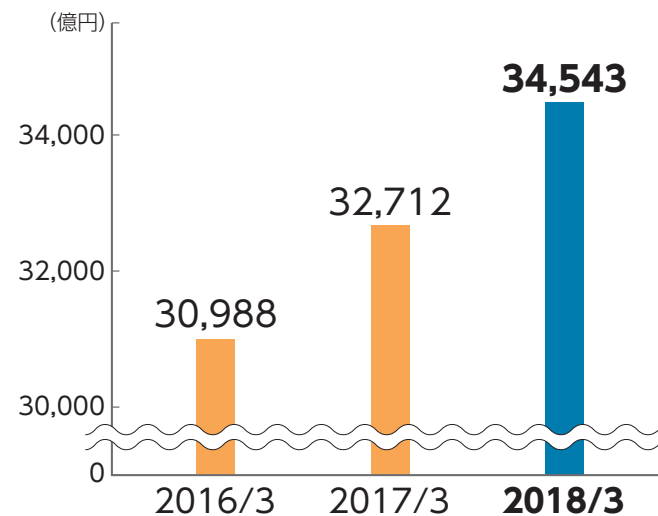
給与振込や年金振込の取引拡大による個人預金を中心に、前期比1,827億円増加し、4兆4,215億円(年間増加率4.3%)となりました。



貸出金残高

3兆4,543億円
(年間増加率5.5%)

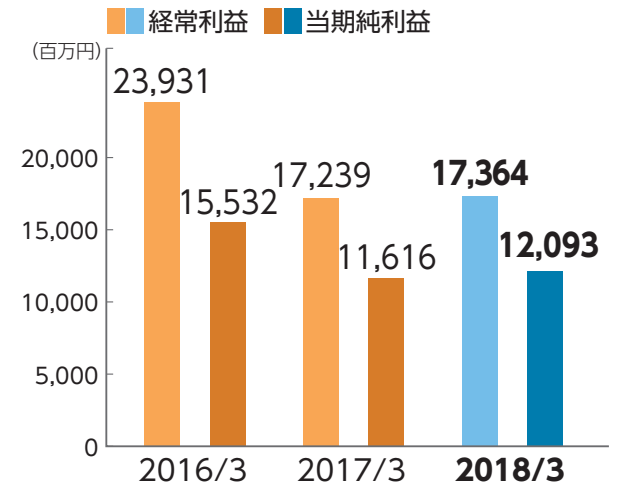
中小企業向けや、住宅ローンを中心とする個人向けの貸出推進に積極的に取り組んだ結果、前期比1,831億円増加し、3兆4,543億円(年間増加率5.5%)となりました。



経常利益・当期純利益

経常利益 **173億円**
当期純利益 **120億円**

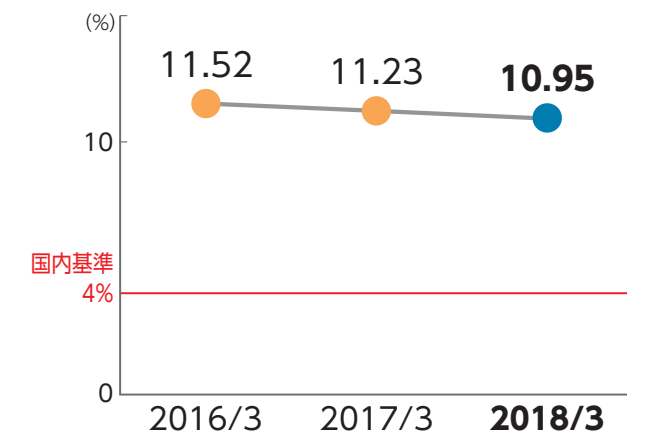
経常利益は前期比1億25百万円増加し、173億64百万円、当期純利益は前期比4億76百万円増加し、120億93百万円となりました。



自己資本比率

10.95%

自己資本比率は、貸出金の増加に伴うリスク・アセットの増加等により、前期比0.27ポイント低下し、10.95%となりましたが、依然高い水準を保っています。

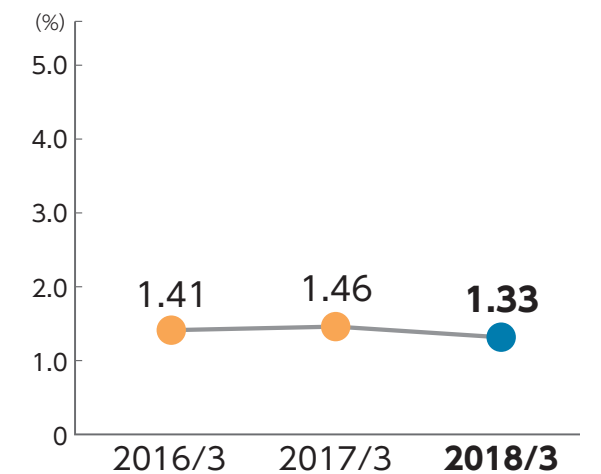


不良債権比率 (金融再生法基準)

1.33%

金融再生法基準の不良債権比率は0.13ポイント低下し、1.33%となりました。

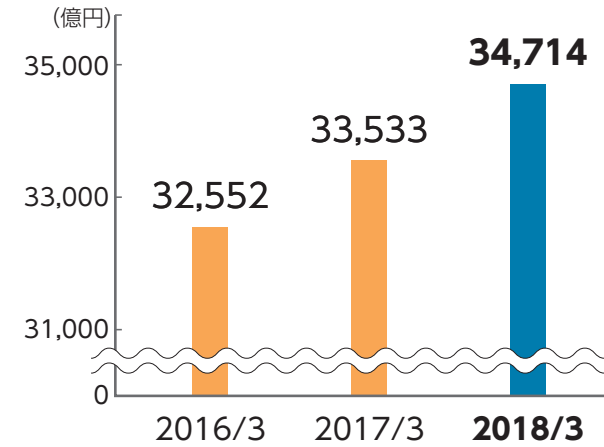
※不良債権比率は、数値が小さいほど健全性が高いことを示しています。



個人預金残高

3兆4,714億円

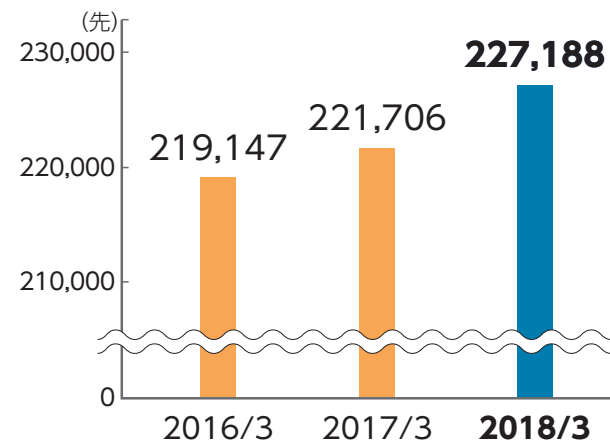
年金受取指定先数および給与振込指定先数が順調に増加したこと等により、個人預金残高は前期比1,180億円増加し、3兆4,714億円(年間増加率3.5%)となりました。



年金受取指定先数

22万7千先

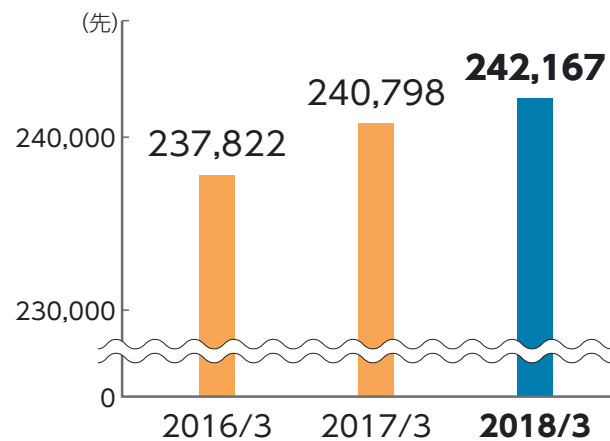
社会保険労務士による個別年金相談会や年金セミナーを開催し、複雑な年金制度の説明や年金請求書作成等のサービスが、ご好評いただいています。年金受取指定先数は年間で5,482先増加(年間増加率2.4%)しました。



給与振込指定先数

24万2千先

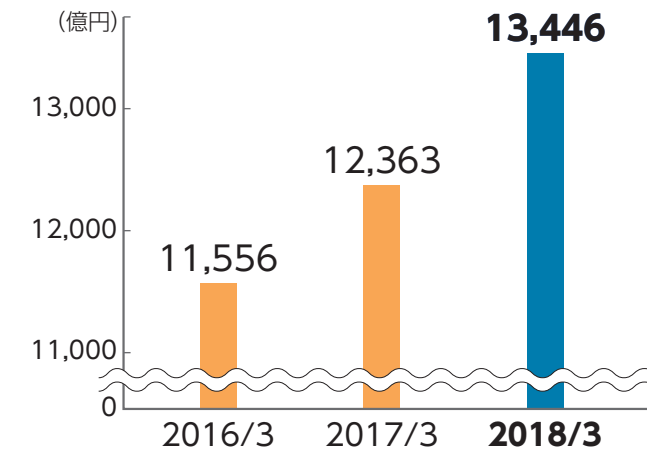
住宅ローン等をご利用のお客さまを中心に給与振込のご指定をいただいています。また、若年層のお客さまに向けた、給与振込のキャンペーンも実施しています。給与振込指定先数は年間で1,369先増加(年間増加率0.5%)しました。



中小企業向け貸出金残高

1兆3,446億円

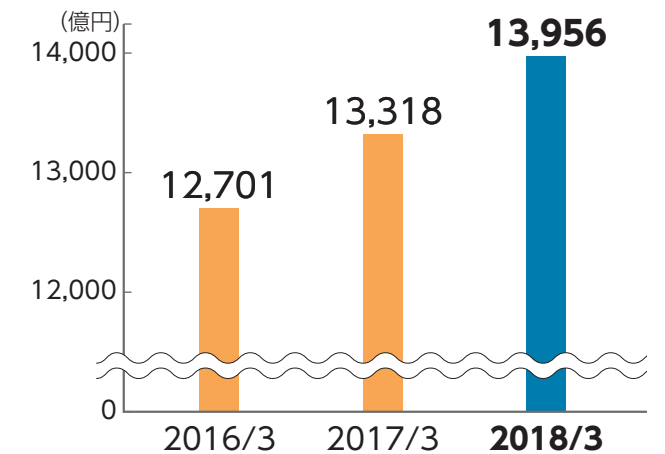
成長分野を中心に、中小企業のお客さまへの貸出に積極的に取り組んだ結果、中小企業向け貸出金残高は前期比1,082億円増加し、1兆3,446億円(年間増加率8.7%)となりました。



住宅ローン残高

1兆3,956億円

お客さまの住宅資金ニーズに積極的にお応えした結果、住宅ローン残高は前期比638億円増加し、1兆3,956億円(年間増加率4.7%)となりました。



その他ローン^(※)残高

454億円

お客さまのニーズに応じた幅広い商品ラインアップを取り揃えたほか、お申し込みチャネルの利便性を高めた結果、その他ローン残高は前期比31億円増加し、454億円(年間増加率7.3%)となりました。

※住宅ローンを除く消費者ローン

